



102-8160 2-17-1
TEL : 03-3264-4088 E-mail : globaledu@hosei.ac.jp
<https://www.global.hosei.ac.jp/>

2023 3



GO GLOBAL HOSEI 2023





スーパーグローバル大学創成支援

我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するためのシステムの改革や、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援する文部科学省の事業。全国の国公私立大学から、本学を含め37校が採択されています。

今なお新型コロナウイルスは収束していませんが、
我々の社会は元の生活を取り戻しつつあります。

大学教育の現場でも、対面授業が再開され、
各国・地域から留学生が来日すると同時に
多くの日本人学生が再び海外留学に挑戦できるようになりました。

コロナ禍で制限されたこともありましたが、新しく手に入れた学び方もあります。
本学は歩みを止めることなく、引き続き「グローバル化」を進めるため、
新たな「国際プログラム」を構築して、
2022年度も学生に様々な国際教育の場を提供してきました。

本書子では、本学がこれまで培ってきた「自由と進歩」の精神に基づき、
変化を恐れず、常に挑戦し続ける本学の国際プログラムの一部を紹介いたします。

INDEX

巻頭	01～02
法政大学のグローバル化へのビジョン	03～04
グローバル人材育成のイメージ	05～06
語学教育プログラム	07～08
国際交流プログラム	09～10
外国人留学生の受入れ	11～12
学生の海外派遣	13～15
国際キャリア支援プログラム	16
海外交流協定大学	17～18

法政大学 総長
廣瀬 克哉



本学が2014年に採択された文部科学省「スーパーグローバル大学 (SGU) 創成支援事業」は、2023年度に最終年度を迎えます。10年間の取り組みの結果、海外交流協定校数の増加や留学支援等の奨学金制度の充実、英語で学位を取得出来るコースの新設等、より多くの学生がグローバルな経験を得られる環境を整えてきました。新型コロナウイルス感染症の影響によっていったん縮小されていた留学生の派遣や受入れも、ほぼコロナ禍前に近い水準まで回復することが出来ています。コロナ禍で得たオンラインという方法により、従来よりも容易に距離を超えることが出来る環境も整ってきました。国際紛争等の変動要因に対応出来る危機管理策のさらなる強化を図りながら、安心してグローバルな活躍の場を追求していくことが出来る大学として歩みを続けてまいります。

本学では、大学間の交流促進のため、現在48の国や地域、265大学・機関と協定を締結しています。2022年度は現地渡航・対面受入れを再開しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部のプログラムについては渡航・受入れ中止となったため、オンラインを活用した海外大学の学生との交流を積極的に推進しました。また、英語で開講されている科目数は、2022年度時点で763科目にのぼり、国境を越えた国際交流だけでなく、キャンパス内の国際化を推進しています。

● 協定校数および協定国・地域数の推移

※学術一般協定・学生交換協定・研究者交換協定・スタディ・アブロードプログラム協定・大学院での各種箇所協定等を締結している大学・機関の合計



● 英語で開講されている科目数

※ERP科目、グローバル・オープン科目、ESOP科目、英語学位プログラム科目の合計

2022年度 **763** 科目

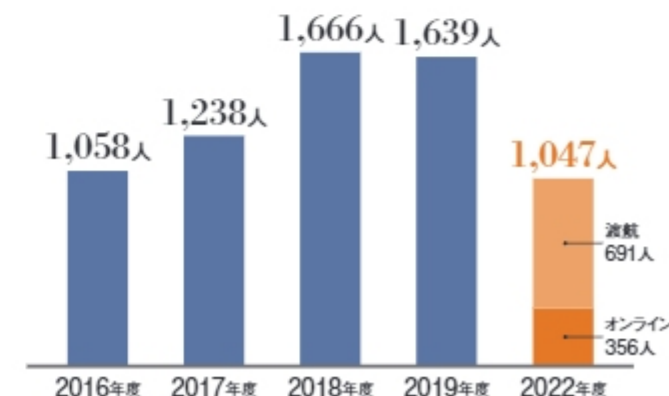
● 外国人留学生受入れ実績

※学部生、大学院生、ESOP交換留学生、短期受入れプログラムの合計



● 海外留学者数の推移

※派遣留学・学部SA・海外研修制度・HOP・海外ボランティア・インターンシップの合計



法政大学のグローバル化へのビジョン

持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学へ。法政大学は、社会の様々な課題を解決する研究と教育を柱とし、自由な思考と自立した行動力を備えた地球市民の育成を目指して、グローバル化を推進しています。



数値目標 2023年の法政大学

グローバル化対応・体制の構築

●総長のリーダーシップ ●長期ビジョン「HOSEI 2030」の策定 ●ICT基盤とIR機能の強化充実

課題解決先進国日本から サステイナブル社会を構想するグローバル大学へ

世界各国のポスト工業国化
地球規模の環境問題
少子高齢化
世代間の格差・雇用問題 etc.

産業構造の転換
エネルギー・公害問題への挑戦
健康・医療、予防福祉の発展
社会システムの革新による雇用創出

世界は持続可能な社会モデルを模索しており、先行モデルとしてのわが国の課題解決研究は世界から注目されています。法政大学は「サステイナブル社会」研究に資源を集中させ、TOP GLOBAL UNIVERSITYを目指します。

日本の知見を世界へ 人間力豊かなグローバルリーダーを育成

法政大学の取り組み

- 1 「世界のどこでも生き抜く力」を備えたフロントランナーを育成する教育プログラム
- 2 「サステイナブル社会」を構築する人材の集積とグローバル化社会への発信力の強化
- 3 サステイナブルなグローバル社会の基礎づくりに向けた中等教育支援
- 4 サステイナブルなグローバル社会の構築を担う社会人の学びなおし
- 5 グローバル社会の変化に迅速に対応し意思決定が出来る体制の構築

大学理念

- 「自由と進歩」の精神でなにごとにも絶えず挑戦し、新しい伝統を創造し続ける
- 自立的で人間力豊かなリーダー育成、最先端を行く高度な研究を推進する
- 教育・研究の成果を社会に還元、持続可能な地球社会の構築に貢献する

受入れ留学生



3,000人

海外留学（単位取得）



1,500人

海外協定校



250校

連携高校（国内・海外）



110校

グローバルアクティビティ
体験率



100%

英語による学位取得



7コース

外国人等教員
外国での教員研究歴のある
日本人を含む



60%

外国語による授業



10%

CEFR B1取得
TOEFL ITP® 500点相当



48.1%

社会人の
学びなおしプログラム



1,200人

グローバル人材育成のイメージ

本学がこれまで培ってきた「自由と進歩」の精神に基づき、
 既成概念にとらわれない自由な発想で考え、新しい問題に積極的にチャレンジする自立型人材、
 持続可能な地球社会の構築に貢献出来る国際的な人材の育成を目指します。
 実践的な語学教育、学内外での国際交流、
 海外留学等、多彩なプログラムを用意しています。

1 年次

語学力と異文化理解力を養成

- ERP (英語強化プログラム) P7へ
- Gラウンジ P8へ
- 国際ボランティア P15へ
- 短期語学研修 P14へ

留学生と交流する

48の国・地域から集まる留学生と学内で交流し、
 国際理解を深めていきます。

2 年次

語学力を生かして専門知識を習得

- ESOP (交換留学生受入れプログラム) 科目 P12へ
- 学部教育課程における海外留学 P14へ
- グローバル・オープン科目 P8へ

3 年次

学んだ知識を海外で実践

- 派遣留学・認定海外留学 P13,14へ

4 年次

グローバル社会で生きる力へ!

- 国際インターンシップ P15へ
- 国際キャリア支援プログラム P16へ

国際機関への
就職・活躍

海外
大学院

- Gラウンジ P8へ
- Jラウンジ、HUBs P11,12へ
- スピーチコンテスト P10へ

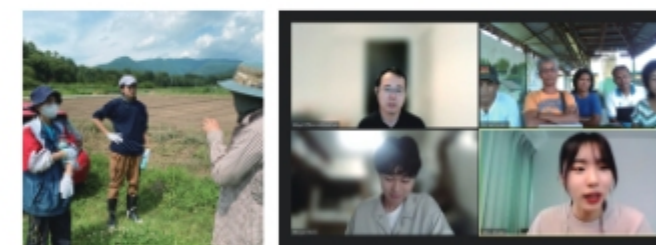
派遣留学等に参加 P13へ

留学等の海外プログラムには、1年間または半期の派遣留学・認定海外留学、学部独自の留学プログラム・海外研修プログラム、全学部対象の短期語学研修があります。グローバル人材育成のためのプログラムを経験した多くの学生が、自身の目的やレベルに合った留学制度を利用しています。



国際ボランティア・インターンシップに参加 P15へ

国際ボランティア・インターンシップに参加することで、身に付けた英語力を生かして、留学とは異なるグローバルな交流・ビジネス体験を積むことが出来ます。世界各地から集う同世代の友人との出会いも魅力です。



国際キャリア支援プログラムに参加 P16へ

将来、国際的な企業や機関で活躍したいと考えている学生を対象に在籍年次に応じた適切なセミナーを実施し、各種参加プログラムにおける学びを国際的なキャリアプランに結びつけて考える機会を提供します。



ERP (英語強化プログラム) 等を受講 P7へ

市ヶ谷、多摩、小金井の全キャンパスで「ERP (英語強化プログラム)」を実施しています。全て英語で行われる少人数の授業です。授業の空き時間を利用して、英語のスキルアップを図ることが出来ます。



グローバル・オープン科目等を履修 P8へ

グローバル・オープン科目やESOP (交換留学生受入れプログラム) の科目を受講することで、学内にいながらにして、英語のみの環境の中で多岐にわたる分野を学ぶことが出来ます。



Gラウンジを活用 P8へ

外国語コミュニケーションスペース「Gラウンジ (Global Lounge)」を活用すれば、日常的にネイティブスピーカーとの会話を楽しむことが出来ます。英語学習アドバイザーや留学生とのコミュニケーション経験により、英会話のスキルとグローバルな視野が身に付きます。



留学生と交流する P11へ

法政大学には多くの外国人留学生が在籍しています。GラウンジやJラウンジ等で積極的に外国人留学生と交流することで、学内にいながらにしてグローバルな視点を養うことが出来ます。



語学教育プログラム

法政大学では、様々なレベルに応じて、日常的に語学力の向上に取り組める機会を提供しています。気軽に英語学習アドバイザーと英会話を練習できるラウンジ、語学スキルを養成するプログラム、英語で専門分野を学ぶ科目等があり、1年次から4年次にかけて徐々にステップアップしていくことが出来ます。



ERP (英語強化プログラム)

English Reinforcement Program

英語スキルの養成、およびその技能統合を目的とした英語強化プログラムです。全ての授業は英語で実施されます。一定レベルの英語力があり、英語学習の意欲が高い全ての学部・研究科の学生を対象に開講しています。2022年度は春・秋学期とあわせて、スプリングセッションでも集中講座を開講しました。

■ERP科目例

レベル	開講科目
CE1	Oral Presentation & Discussion: Intermediate I,II
	Writing & Discussion: Intermediate I,II
CE2	Oral Presentation & Discussion: Higher-Intermediate I,II
	Writing & Discussion: Higher-Intermediate I,II
CE3	Oral Presentation & Discussion: Advanced I,II
	Writing & Discussion: Advanced I,II

*英語スコアによってレベル分けを行っています。



さらに詳しい情報は▶



<https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/>

グローバル・オープン科目

全ての科目の教授言語を英語とし、全学で開講している学部横断型の公開科目です。ERP等により一定以上の英語力を身に付けた学生は、全ての授業が英語で行われるグローバル・オープン科目を受講することで、所属学部の専門領域を超えた知識やグローバルな視点を身に付けることが出来ます。(一部科目において履修に英語力基準を設けている場合があります。)
各領域内で12単位以上取得した方には、所定の申請により、修了証が発行されます。

■2022年度秋学期 開講科目例

領域	科目名
(1) ビジネス&マネジメント	Introduction to Strategic Management, Foundations of Finance, Business and Society, Global Human Resources Management etc.
(2) ビジネス&エコノミクス	Introduction to Economics A, Business Communication II B, Sport Consumer Behavior, Practical Economics B, Japan and ASEAN Economy B etc.
(3) 国際関係	World Politics, Social Science A, Approaches to Transnational History, International Society and Environmental Issues etc.
(4) 社会と文化	Comparative culture (3), Design Basics in English, Art, Rebellion and Advertising, Race, Class and Gender I: Concepts & Issues, Fieldwork for SDGs etc.
(5) 実践英語	Foreign Language Exercise (English IV), English Academic Writing II, English Presentation II, Multicultural Translation through English II etc.
(6) 科学・技術	Introduction to Computer Science and Information Technology, Environmental Science, Probability Models and Applications etc.



*グローバル・オープン科目修了証授与の様子

Gラウンジ Global Lounge

キャンパス内にいながらにして、外国人留学生や英語学習アドバイザーと日常的なコミュニケーションの機会を持つことが出来、実践的な語学力を身に付けられます。英語学習アドバイザーが市ヶ谷・多摩・小金井キャンパスの各Gラウンジに授業期間の週4日13時間常駐し、対面・オンラインどちらでも参加出来るよう準備の上、継続的な英語学習支援の場を提供しました。英語に苦手意識のある学生を対象にした初心者向けの時間を設け、これから英語学習に力を入れたい学生も英語に親しめる環境を用意しています。



TOEIC® IPの全学実施

自分の英語レベルを把握し、英語学習に役立てる機会として、TOEIC®IPを年1回、実施しています。実力の把握が、英語学習へのモチベーションや英語レベルの向上に繋がります。2022年度は期間内であれば好きな時に受験が可能なオンライン形式で実施し、多くの学生に受験機会を提供することが出来ました。

TOEFL®・TOEIC®・IELTS講座

春学期・秋学期中に受講出来る有料の英語試験対策講座です。英語圏留学を目指す学生対象のTOEFL®IBT講座・IELTS講座と、ベーシック・インターミディエートの2レベルで展開するTOEIC®L&R講座があります。各講座ともに全10回(週1回クラス)の集中授業をオンラインにて実施しました。

国際交流プログラム

語学力の向上や国際理解を深めることを目的に、様々な海外大学との交流やグローバルイベントを実施しています。また、2021年度より海外協定校の学生と英語・日本語での会話を楽しむオンライン言語交換プログラムを開始しました。



海外大学生とのオンライン言語交換プログラム (Language Buddy Project)

2021年度より開始した、海外協定校の学生とペアになり6週間以上にわたってオンラインで英語・日本語双方でのコミュニケーションを楽しむ言語交換プログラムです。春学期と秋学期の2回実施し、具体的な実施スケジュールや方法、会話のテーマ等は各ペアで相談して自由に決めることができます。英会話の能力を向上させたい方だけでなく、言語・文化の異なる友人をつくりたい方や、将来海外留学に挑戦してみたい方にも適したプログラムです。2022年度はアメリカ、イギリス、タイ、ドイツ、オーストリア、スイス、フランス、ロシア、メキシコ、オーストラリア、マレーシア等計13カ国の海外大学と実施し、春学期・秋学期合わせて計約230ペア・490名の学生が参加しました。実際に本プログラムに参加した学生からは「日本と違う食文化や学校生活について話し合うことができ、異文化理解に繋がった」、「今まで海外大学生と英語で話す機会に乏しかったので、会話力に不安を抱いていたが、実際に話してみると確かなコミュニケーションを取れている実感が持て、自信に繋がった」といった声が寄せられました。

Voice

私は普段英語を勉強する中で、実践的に英語を使う機会を増やしたいと思っていました。そのような時にこのプログラムがあることを知り、応募しました。実際に海外の大学生とつながって話すというのは初めてで、どのような形になるのか分かりませんでしたが、このプログラムではこちら側が英語を学ぶだけでなく、相手も日本語を学ぼうとしているので、自国の言語を英語を使って教えるという普段なかなかできない経験をすることができました。申込時に自分の趣味や好きなこと等を記入するので、共通点がある相手といろいろな話をすることができました。より分かりやすく説明できるようにと、これからの英語の勉強のモチベーションになりました。言語以外にも、時差がある中での時間帯の調整等、話すために様々な準備をする必要があり勉強になりました。相手の方はアメリカの大学生で、夢に向かって頑張っているのを見て、刺激をもらいました。機会があったら来年もまた参加したいです。

This experience taught me about life as a Japanese student, how to get over my nervousness when speaking in Japanese and it allowed me to learn about Japanese outside of a purely academic setting and provided me with the experience of a foreign language conversational partner. I'm glad we were provided with this experience, and if able to take part in this program in the future, I would take part in this program again.



高橋来温さん (写真左)

2022年度秋学期オンライン言語交換プログラム参加
理工学部機械工学科 1年 (参加当時)

Alissa Zeneroさん (写真右)

Baylor University (アメリカ)

グローバルデイ2022

約50名の学生実行委員が主体となり、企画から運営までを行う、学内最大級の国際系イベントです。国際的な舞台上で活躍する実務者を招いて講演いただき様々な取り組みを紹介するほか、学生企画での意見交換、問題提起等を通じて、国際協力、国際交流、グローバルビジネスへの興味喚起を目的として毎年開催しています。2022年度は感染症対策を施した上で、3年ぶりの実地開催となりました。

2022年度実施内容

- ・グローバルポイント制度表彰
- ・グローバル教育センターが主催するプログラムの紹介
- ・ゲスト講演「世界の子どもたちと貧困、キャリアプランのヒント」
- ・「国際問題」、「SDGs」、「留学生」、「言語」、「表象文化」等、各テーマに沿った学生ワークショップ



スピーチコンテスト

「第8回法政大学日本語スピーチコンテスト」(ベトナム) (主催：法政大学 共催：ハノイ国家大学外国語大学)

本コンテストはベトナムの高校生・大学生を対象に、日頃の日本語学習の成果を発表する機会を提供することを目的として、2015年度から毎年度開催しています。第1回から通算して1,400名を超える生徒・学生が参加してきました。

ハノイ国家大学外国語大学をメイン会場として11月26日に開催された決勝審査では、応募者266名のうち、予選を通過した19名が「世界でいま起きていることと私が貢献できること」をテーマにスピーチを行いました。2022年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本学審査員は日本からオンラインで審査を実施しました。

最優秀賞、優秀賞を受賞した4名(大学生3名、高校生1名)には副賞として日本へ招待することが伝えられ、2023年度に来日して、日本語や日本文化の学びを深めてもらう予定です。



多摩国際交流フェア

多摩キャンパスで行われている、留学生と日本の学生が交流を深めるイベントです。国際交流サークル「FiTus(フィックス)」と各国留学生会が主体となり、留学生による母国の文化紹介や、参加者同士で懇親を深めるゲーム等を開催しています。2022年度は80名の学生・教職員が出席し、各国・地域の文化を体験しながら、交流を深めました。

2022年度実施内容

中国の伝統的な「投壺」ゲーム、韓国のドラマで話題の手作りめんこゲーム、留学生による海外の文化にまつわるクイズ大会等



総長杯英語プレゼンテーション大会

本学付属校(法政高校・法政第二高校・法政国際高校)の生徒を対象に、自分の考えを英語で発表する機会を設けるため、英語プレゼンテーション大会を開催しています。本大会は、2016年度に開始し、これまで延べ95名の付属校生が参加しました。2022年度の第7回では「SDGsの達成に向けてー世界で今起きていること、わたしたちにできることー」をテーマに大学教員、付属校教員及び本学の外国人留学生による審査のもとで、合計8組110名の付属校生が英語でプレゼンテーションを行いました。

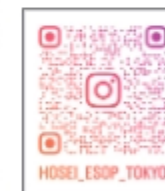


法政プロモーション・プロジェクト (Hosei Students x ESOP Students)

2022年度より、法政大学や日本へ留学したいと思う留学生を増やすことを目的に、法政大学の学生と交換留学生との共同プロジェクトとして「法政プロモーション・プロジェクト (Hosei Students x ESOP Students)」を立ち上げました。6名の学生メンバーは主にInstagramを利用して、法政大学や日本での留学生活等の情報を英語で海外に発信・PRしています。ぜひご覧ください。

Instagramアカウント

https://www.instagram.com/hosei_esop_tokyo/



外国人留学生の受入れ

外国人留学生3,000人の受入れ実現を目標とし、キャンパスのさらなるグローバル化を目指しています。
また、学生が国内で国際交流出来る機会を提供するため、受け入れた留学生や海外大学との交流を実施しています。



外国人留学生(正規留学生受入れ)

学部・大学院合わせて1,100人の留学生が日本人学生と共に勉学に励んでいます。本学では、グローバル教育センターを中心に様々な部局で留学生を支えており、留学生を対象とする授業料減免制度や各種奨学金の紹介、日本での就職を目指す留学生に向けた企業説明会等も積極的に実施しています。新規奨学金の創設、英語による学位コースの設置等により、多様な学生の受入れを目指しています。2022年度には水際措置の緩和により多くの留学生が来日することができ、念願の対面での授業や実習、課外活動に力を入れています。また、コロナ禍を機に取り入れた学生の各種申請や説明会等のオンライン対応も継続しており、学生たちの利便性向上を図っています。

法政大学総留学生会

留学生が互いに親睦をはかり、学業達成のために協力しあうことを目的として自主的に運営している組織です。学部留学生は全員が総留学生会の会員となります。総留学生会は主に中国、韓国、台湾留学生会等から構成され、それぞれが新入生歓迎会や夏合宿、スポーツ大会等、毎年多種多様な活動を実施しています。活動内容によってはグローバル教育センターが補助費のサポートも行っています。また、12月には年1回の総会が開催され、次年度の役員選出や活動方針の報告を行います。



Voice

私は高校生の頃からインターネットで世界の様々なニュースを見てきました。グローバル化が進んでいる現代社会において、自分の目で他国のことを見て、自国と他国の違いを確認したいと考え、日本への留学を決めました。留学を通して異文化を知ることができ、多様な価値観と考えを取り込み、思考力を鍛えることが出来ています。日本は言語や文化、日常生活等において母国との共通点と相違点がたくさんあります。共通点を認識しながら、相違点も受け入れることを留学中の課題としています。日本での留学は、世界を知ることへの第一歩となっています。今年から対面授業が再開されて、念願のキャンパスライフを送れるようになりました。2年間のオンライン授業を経験した後、通常の授業に適應するには、生活スケジュールを大きく見直す必要があり、最初は慣れないこともたくさんありました。しかし、中国留学生会の新入生歓迎会や夏合宿に参加し、友人との交流が出来ましたので、今は充実した学生生活を送っています。授業では統計学を中心に、データの分析手法等を学習しています。グローバル化とビッグデータの活用が進み、物も情報も溢れている現代社会で生き抜くため、今後も大学で学んだことを生かしていきたいと思っています。



ホウネイさん(写真左)
外国人留学生(中国)
経済学部 現代ビジネス学科
3年生(2022年度)



日本語教育プログラム(JLP)

留学生を対象に日本語や日本文化等の学習を支援しています。多くの方が大学や大学院での学習や職場で必要となる十分な日本語力を身に付けることを目指しています。授業は初級から上級まで7つのレベルに分かれ、各個人の日本語力に適したクラスを受講しています。受講生は交換留学生、英語学位生のグループから構成され、多様なバックグラウンドをもつ学生が集い交流しています。2022年度は、新型コロナウイルスの影響により、各学期とも最初の2回の授業をオンラインで実施しましたが、そのあとは対面による授業(一部ハイフレックス授業)が可能となりました。

※本プログラムは2022年度春学期入学をもって科目等履修生の募集を終了いたしました。

Jラウンジ

Jラウンジは、日本語を学ぶ留学生が授業外で学生スタッフと交流し、生きた日本語を学び、使う交流スペースです。留学生にカジュアルな日本語が使える機会を提供し、友達づくり等本学でのコミュニティ形成のサポートを行っています。学生がボランティアで主体的に運営しており、休休みを利用して実施しています。また自分たちで考えたテーマをもとに文化交流イベント等を企画・実施しています。2022年度は、春学期は5月から対面で週2日の計18回、秋学期は、9月の4回はオンラインで行いましたが、10月からは対面で22回行うことが出来ました。キャンパスに学生たちの姿が戻り、Jラウンジ以外でも留学生向けのイベントを通して、活発に交流しています。



ESOP(交換留学生受入れプログラム)

本プログラムは、本学の海外協定大学から受け入れる、半期から1年間在籍する交換留学生および短期私費留学生のために1997年より開設された講座であり、日本の文化や社会、政治、経済等のテーマを中心とした科目を交換留学生向けに英語を用いゼミ形式で行っています。この科目は本学学生も受講可能であり、多くの学部が単位を認定しています。一定の英語レベルが求められ、課題も多いですが、英語力を向上出来るだけでなく、授業内で留学生と交流を深めることが出来、留学前の準備として日本社会や文化を理解することも出来、留学で得た経験や知識のブラッシュアップにもつながっています。また、海外で授業を受けたことがない学生には、国内でも本授業を通じてグローバルな視点を身に付けることが出来るため、とても魅力的な授業になるでしょう。ぜひこの機会にESOP授業に参加し、学習を通じて国際交流の輪を広げてみてください。

Voice

One of my biggest dream goals was to study abroad in Japan and immerse myself in a different world. I chose Hosei University because they offer a great Japanese language program and courses related to Environmental Science and Sustainability Studies, which is what I'm currently studying in America. I am very fortunate to make such amazing Japanese friends here, who helped me many times when I had issues. Not just Japanese, but I was lucky enough to meet many lovely international students from around the world. For students thinking about studying abroad here: absolutely go for it. This is one of the biggest life changes I have ever experienced. I guarantee that Japan will feel like another home because of the delicious foods, stunning sceneries, and the wonderful people. Thank you so much Hosei for making my dream a reality.



TETREAU Ryan Jonathanさん(写真3列目右側)
交換留学生(アメリカ)
所属大学: ジョージ・メイソン大学 3年(参加当時)

ウクライナからの留学生受入れ

昨今のウクライナ情勢の危機的な状況に鑑み、人道的な支援として、学修の継続を希望するウクライナの学生に学修機会を提供するために、2022年9月より4名の学生を受け入れています。ウクライナ学生たちは、日本語や日本の社会・文化・ビジネスに関する授業の履修に加え、ウクライナの文化や歴史を紹介するイベントを市ヶ谷キャンパス、多摩キャンパスにて実施し、本学学生との交流を深めました。ウクライナでの生活基盤が再建されるまでは、まだ長い期間を要することが予想されます。今後も「ウクライナ避難学生支援募金」等の支援をいただきながら、ウクライナからの留学生の支援を継続することを検討しています。

ウクライナ避難学生支援募金の詳細: <https://www.global.hosei.ac.jp/news/news-2022-31933/>



HUBs(Hosei University Buddy system)

HUBs(ハブス)は、法政大学に入学する交換留学生とBuddy(バディ)を組み、留学生が在籍する半期または1年間、サポートを行うボランティアです。具体的には、学期前後に学習に関するアドバイス、出迎え、大学施設案内、IT座開設、定期券購入、キャンパスツアー、イベント開催等様々なサポートを行い、コアメンバーが企画した交換留学生向けのパーティや体験イベント等も支援・参加します。この活動に参加することで語学学習の機会を得るだけではなく、国際交流を通じて留学生の視点で日本を見つめ直し、グローバル視点と異文化への理解を深めることが出来ます。2022年度は計291名の学生がHUBsに参加し、様々なイベントを実施・支援しました。本活動は、日本にいながら世界各国・地域からの留学生と交流を深めることが出来ることと、留学生の日本留学をかけがえのない思い出にするお手伝いが出来ることが魅力です。

Voice

私は海外の友達をつくってみたいと思いHUBsに参加しました。私は今まで実生活で英語を必要とする場面がなく、HUBsに参加して初めて英語を使う機会ができました。そのため、留学生の市役所手続きの際に、拙い英語を話すのは緊張と不安でいっぱいでしたが、伝わったときには達成感を覚えました。この経験から私は外国人に話しかける勇気を持つことができ、外国人の友達を増やすきっかけになりました。留学生の友達ができると、日本語の使い分けや海外から見た日本の魅力等の話が増え、日本について考える機会になりました。反対に、各国の留学生がいるので英語以外の言語、世界の文化の違い等に触れることもできました。留学と違って、日本語を勉強している外国人と話せるので、英語が苦手な私にとってはお互いwin-winな関係で語学学習できるという点が魅力的に感じました。HUBsでは留学よりも気軽に楽しく国際交流ができるので、ぜひ参加してみてください。



高橋未夢さん(写真右から3番目)
2022年度秋季HUBs生/法学部
法律学科3年生(参加当時)

学生海外派遣

学生が海外に出て、語学力の向上だけでなく、異文化への理解を通じて広い視野を持てるよう、様々な海外プログラムを実施しています。また、2021年度より入学後間もない学生を対象とした留学に対する奨学金制度を新たに開始しました。



派遣留学制度 ～協定校への交換留学～

全学部対象の留学制度で、3・4年次に世界各国の協定校に半期または約1年間留学する制度です。学内選考試験に合格した派遣留学生全員に返還不要の奨学金が支給されるほか、法政大学の学費を通常通り納入することで、派遣先大学の授業料は全額免除されます。派遣先大学では主に学部の授業を履修し、取得した単位は帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症や留学先情勢の影響で渡航が出来ない一部国・地域を除いて、19カ国・地域41大学へ81名の学生が派遣留学に参加しました。

●派遣留学奨学金（半期留学の場合は半額支給）

アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ドイツ、オーストラリア、スイス、チェコ、オランダ、フランス、デンマーク、スウェーデン、イタリア、ロシア、スペイン、韓国の協定校に留学する場合

100万円

中国、台湾、香港、タイ、マレーシア、ウズベキスタン、メキシコの協定校に留学する場合

70万円

ヨーロッパ
12カ国・地域 30校



北中米
3カ国・地域 14校

派遣留学先大学
23カ国・地域
69大学・機関

※2023年2月末時点

Voice

私は、国際的な視点からマーケティングを学ぶことを通じて枠に捉われない考え方を得るために派遣留学を決意しました。当初は英語での授業についていくことに必死で全く余裕がなく悩む日もありました。そこでクラブ活動や異文化交流会に参加して現地の学生や他の留学生と関わる機会を増やし、常に英語を話していたことで徐々に授業の内容がわかるようになりました。授業は実際に商品開発プロジェクトを行うような実践的なものが多かったので将来働くイメージができてとても楽しかったです。また、英語力がついたことで授業外でも様々な背景を持つ学生たちと宗教や政治について討論をし、日本では聞くことができない若者の意見を聞くことができました。学業以外にも時間管理や友達づくり、就職活動等数多くの事を自分の力でこなさなければいけない環境下で自己管理についてもかなり成長できたと思います。コロナ禍で留学に行かせてくれた周りの方々への感謝を忘れずに、この経験を生かして将来は枠に捉われないで世界と日本の懸け橋になるようなことにも挑戦してみたいです。



大槻果穂さん（写真後列右端）
2021年度ボイシー州立大学（アメリカ）
派遣留学生 経営学部 経営学科
4年生（参加当時）

Voice

新型コロナウイルスの影響でオンライン留学と渡航を伴う留学の両方を経験しましたが、どちらも各々の良さを活用し思う存分に楽しむことができました。私は、「今まで培ってきた英語力を試したい」「自分が大学で学んでいることの専門性を極めたい」この2つの思いを胸に留学を決意しました。現地での授業は準備を含め苦労する場面が多々ありました。ですが、その分、刺激的な毎日過ごすことができた自信を持って言えます。何より、異なるバックグラウンドをもつ人たちの交流を通して、大学卒業後のキャリアは就職だけではなく気付かされたのは一番の収穫です。留学先の大学内には、ギャップイヤーで入学した人、30代で大学院に進学してキャリアアップに繋げている人、自分の夢のために学業にも課外活動にも精を出す人、様々なモチベーション、価値観を持った人に会うことができました。これはひとえに、派遣留学という機会を設けていただいたおかげです。留学を通して、自分が想像していなかった収穫があるということを、留学を考えている方に伝えたいです！



佐々木瑠圭さん（写真左）
2021年度シドニー大学（オーストラリア）
派遣留学生 グローバル教養学部
グローバル教養学科 4年生（参加当時）

認定海外留学制度 ～希望する大学への私費留学～

希望する海外の大学から受入れ許可を得て本学に申請をし、所属学部の審査を経て2～4年次の半期または約1年間私費留学する制度です。留学先大学で取得した単位は、帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。法政大学と留学先の両方に学費を支払う必要がありますが、「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」(30万円)、「後援会認定海外留学奨学金」(10万円)、「グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」(25～50万円)等の返還不要の奨学金制度があります。

また、本学協定校のボイシー州立大学やミネソタ州立大学マンケート校（アメリカ）、オーストラリア・カンブリア大学やボンド大学（オーストラリア）での認定海外留学制度による私費留学制度も実施しています。※奨学金は半期留学の場合、半額支給。



【過去10年の認定海外留学生の留学先国・地域】



学部独自の留学・海外研修制度

14学部において、学部独自の留学制度であるスタディ・アブロード(SA)プログラムと学部の専攻に合わせた特徴のある様々な海外研修がカリキュラムに組み込まれて行われています。

2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部の学部で渡航を中止しましたが、文学部、経済学部、国際文化学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部、GISの6学部で渡航によるプログラムを実施し、計222名の学生が参加しました。

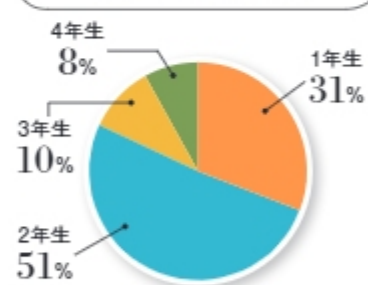
独自の留学制度・海外研修制度を実施している学部

全14学部

短期語学研修制度

夏休みと春休みの2～4週間程度、語学力の向上を目指して、マレーシア・アメリカ・カナダ・オーストラリア（英語）、中国・台湾（中国語）、韓国（朝鮮語）、オーストラリア（ドイツ語・夏季のみ）、フランス（フランス語）の各協定大学で実施する留学制度です。研修は各協定大学付属の語学機関にて行われます。学部や学年、語学レベルや学業成績にかかわらず、全ての学部生が応募可能です。留学先では個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っているため、初級者から上級者まで幅広く対応しており、初めて海外に行く方や、将来長期留学を考えている方にも適した制度です。また、課外活動や文化体験を通じて、留学先の社会や文化に触れることが出来るのも魅力です。学部によっては、所定の要件を満たすことで単位の認定も可能です。※新型コロナウイルス感染症の影響により現地への渡航が困難な状況が続き、オンラインプログラムを実施していましたが、2022年度春季より渡航プログラムを再開しました。

学年別参加者比率 (2022年度春季／渡航)



Voice

長期留学をしたいと思いながらも明確な理由がなく本気になれずに漠然と大学生活を送っていたときに今回の短期語学研修を知り、思い切って参加を決めました。韓国語は第三外国語として学んでいてハングルが読める程度でした。渡航前は授業についていけるか不安でしたが、先生がレベル別のクラスの中でもそれぞれの実力に合わせて進めてくださったので何とかついていくことができました。現地の大学生とソウルを観光する機会には、自分からたくさん話しかけ、わからない発音なども教えてもらいました。授業で学んだことを会話で実践できると達成感があり、楽しみながら真剣に勉強ができました。また、友達と遊びに出かけた中で、法政大学で履修していた文化の差異や歴史に関する講義と結びつく発見が多くあり、新たな関心事を見つけることができました。今回の2週間で、ここには書ききれないたくさんの楽しい経験・発見がありました。私のように留学に悩んでいる方には特に参加してみることをおすすめしたいです！必ず次の一歩を見つけることができると信じています。



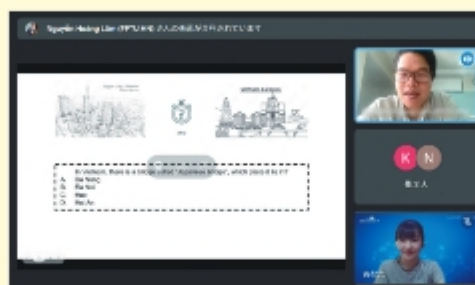
小保方涼子さん（写真左）
2022年度春季短期語学研修 建國大学（韓国）参加
人間環境学部 人間環境学科 2年生（参加当時）

国際ボランティア・インターンシッププログラム

様々な体験を通して、これまでとは違った視点から世界を見ることにより、グローバル人材に求められる能力や資質をも身に付けるプログラムです。派遣先で必要とされる活動に参加し、相互に理解を深めながら取り組む「国際ボランティア」と、派遣先の企業や団体で就業体験を行う「国際インターンシップ」の2種類があり、文化や言語、働き方の違いを学ぶことで海外へチャレンジする学生を育てます。実施期間はプログラムにより異なりますが、夏季(8～9月)および春季(2～3月) 休暇中の2～4週間程度です。新型コロナウイルス感染症の影響により現地への渡航が困難な状況が続いていましたが、2022年度春季より現地渡航型プログラムを再開しました。

Voice

私は約4週間、ベトナムのNPOで英語学習支援に関するマーケティング活動に従事しました。このプログラムを通して、国際的な仕事と自分自身への理解を深め、普段の大学生活では得られない実践的な知識やスキルを身に付け、成長と自信を感じることが出来ました。参加前は、英語力やリモートでのコミュニケーションに不安がありましたが、いざ活動が始まると、不安どころか、言語や価値観、文化的背景の異なる人たちと交流する楽しさを実感し、充実した時間を過ごすことができました。勇気を出して参加して本当によかったと思います。私が国際インターンシップから学んだ最も大切なことは、失敗を恐れず積極的に行動することです。そして、この学びは、自主性を重んじ、参加者に試行錯誤を繰り返させるこのプログラムだからこそ得られたものだと思います。皆さんも、この貴重な機会を大切に、ぜひ参加してみてください。



土屋 歩乃佳さん (写真下)
2022年度夏季国際インターンシップ (FTP大学・ベトナム) 参加
文学部 英文学科 2年生 (参加当時)

海外留学ファースト・チャレンジ奨励金

学生の入学後、早期から自主的に海外留学・海外研修活動に挑戦することを奨励し、その後のさらなる国際交流活動を動機づけるため、2021年度より「海外留学ファースト・チャレンジ奨励金」制度を新設しました。本奨励金は、夏季・冬季・春季休業期間中に実施される、学外機関主催・提供の海外留学・海外研修プログラムのうち所定の要件を満たしたものに参加・修了した学部1～2年生に対し、選考の上支給するものです。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により海外への渡航が困難な現状を踏まえ、オンライン形式のプログラムも支援の対象としています。

実際に本奨励金を受給した学生からは「オンラインでのインターンシップは初めての試みで、申し込むまでの不安が大きかったが、本奨励金制度によって、参加してみようという意欲が湧いた」、「オンラインの留学で果たして満足のいく学びが出来るのかと応募する決断がなかなか出来なかったが、本奨励金のおかげで留学に踏み切ることが出来、結果的に大変充実した時間を過ごすことが出来た」といった声が寄せられました。

なお、本奨励金は、国際化サポートを促進として寄付いただいた「リーディング・ユニバーシティ法政募金」の一部を財源としております。

給付額 **5** 万円

採用人数 **40** 名程度
各年度

Voice

オンライン留学

木戸 政宗さん 経済学部 国際経済学科 2年生 (参加当時)

この度は奨励金を支給していただきありがとうございました。

私が参加させていただいたプログラムはインドネシアの企業におけるオンラインSDGs インターンシップです。インドネシアの環境問題を解消するために、廃棄物を使った商品を開発するという内容でした。このプログラムを通して、SDGs の知識だけでなく、聞く態度や積極性等人間として成長することも出来ました。講師の方のサポートも厚く、長所や短所等の自己分析もあり、就職活動に必要なスキルにも繋がるようなプログラムでした。私はグループ活動でリーダーを務めたのですが、自信がなくリーダーに立候補出来なかったのが、今後は皆の良きアイデアを引き出すような素晴らしいリーダーになれるように努めていきたいと思っています。このプログラムで自分が成長出来ただけではなく、自己分析を通して、今後の課題も明確になりました。

2022年度国際ボランティア・インターンシップ募集プログラム(一部)

- ・FPT大学共催国際ボランティアプログラム(ベトナム/ダナン)
約4週間のプログラム期間に、ティーチングアシスタント(NGO/NPOでのベトナム人学生への日本語・英語学習支援、ベトナム・ダナン市の日本語コミュニティの発展)、環境保全プロジェクト(ベトナム人の環境保護意識の向上を目的としたプロジェクトに参加)、孤児院訪問(ダナン市内の孤児院を訪問、日本語・英語の基礎教育や日本文化紹介を行う)の3つに取り組めます。
- ・ペイラー大学共催国際インターンシッププログラム(アメリカ/テキサス)
派遣先大学の日本語教員の指示のもと、日本語学習クラスにおいて言語練習を支援するとともに、日本文化および本学の紹介を英語で行います。その他、学生間交流やテキサス州で行われる日本語スピーチコンテストの補助現地学生との協働フィールドワーク等を行います。

国際キャリア支援プログラム

学生が留学等の海外プログラムでの経験を将来のキャリアに繋げ、グローバルに活躍する人材へと成長出来るよう、様々なセミナーやワークショップを実施しています。1年次から4年次まで、また、海外プログラムの参加時期に応じた段階的なプログラムを構成しています。2021年度より、キャリアセンターと合同で留学と就職活動の両立に関するオンラインセミナーを開催しています。2022年度は、在学中にグローバルな体験をしたり、卒業後にグローバルに活躍したりしている卒業生を招き、学生時代の活動や卒業後のキャリアについての講演、「Career Model Case Study」シリーズを開始しました。これまで、計6名の卒業生が登壇し、在学生にとって将来の道筋を描くための良い刺激となりました。

グローバル人材として
社会で活躍

- 採用直結型イベント
- 留学経験者向け学内企業説明会

海外プログラム参加後各種セミナー

学内外の海外プログラムに参加

海外プログラム参加前各種セミナー

海外留学・就職活動セミナー

Career Model Case Study (卒業生を招いた講演イベント)

1年次

2年次

3年次

4年次

2022年度プログラム実績

- ・海外留学と就職活動の両立に関するガイダンス(キャリアセンター共催) 各学期実施
- ・Career Model Case Study 計6回実施
- ・長期留学予定者向けキャリアセミナー 各学期実施
- ・「グローバルキャリアに向けて」セミナー
- ・海外院進学を選んだ卒業生による体験談イベント
- ・「在外公館派遣員」参加者による体験談イベント
- ・「外務省専門職員」内定者による体験談イベント
- ・「JICA海外協力隊」セミナー



海外交流協定大学

● 派遣留学 ● 短期語学研修 ● 学部SA*

*学部により行き先が異なります。

現在、法政大学では世界48カ国・地域において、265大学・機関（2023年2月1日現在）との間で
学術一般協定、学生交換協定等を締結しています。法政大学と世界を結ぶグローバルネットワークは今後もさらに広がっていきます。

海外交流
協定大学

265

48カ国・地域
大学・機関

※2023年2月1日現在

イギリス United Kingdom

ロンドン大学ロイヤル
ホロウエイカレッジ
シェフィールド大学 ● ●
ノッティンガム大学
グラスゴー大学
リーズ大学 ● ●
ニューカッスル・アボン・
タイン大学 ●
サセックス大学 ●
ブラッドフォード大学 ●
ヨーク大学
ロンドン大学バークベック ●
ウルヴァーハンプトン大学
ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 ●
リヴァプール・ジョン・ムーア大学 ●
セントラル・ランカシャー大学 ●

アイルランド Ireland

ユニヴァーシティ・カレッジ・ダブリン ●
リムリック大学 ●

フランス France

リヨン第三大学 ●
西部カトリック大学 ● ●
パリ大学 ●
ヴェルサイユ大学理工学部 ●
エクス・マルセイユ大学
ストラスブール大学 ●
キャンパスフランス ●
サンジェルマン・アン・レー
政治学院 ●

スペイン Spain

バルセロナ大学 ●
ラモン・リュイ財団
ビック大学 ●
コルドバ大学 ●
EUSS
マラガ大学

ドイツ Germany

フンボルト大学
オルデンブルク大学
ロイファナー・リューネブルク大学
ベルリン国際応用科学大学
バーデン＝ヴュルテンベルク・
デュアルシステム大学 ●
ブレーメン大学 ●
シュトゥットガルト工科大学 ●
ブレーマーハーフェン
応用科学大学

オランダ Netherlands

NHILステッデン応用科学大学 ●

スイス連邦 Switzerland

スイス連邦工科大学チューリッヒ校
ザンクトガレン大学 ● ●
チューリッヒ大学
チューリッヒ大学哲学部東洋学科日本学部門

スウェーデン Sweden

ブレーキング工科大学 ●

デンマーク Denmark

ロスキレ大学
オールボー大学 ●

イタリア Italy

カルロ・カッターネオ大学 ●
ヴェネツィア大学 ●
ミラノ工科大学
トリノ工科大学
パヴィア大学

チェコ Czech

チェコ工科大学 ●

オーストリア Austria

ウィーン大学 ● ●

ハンガリー Hungary

コルヴィナス大学 (旧：ブダペスト経済大学)

ルーマニア Romania

バベシュ・ボヤイ大学

ポーランド Poland

社会科学大学
コズミンスキー大学

アルバニア Albania

ティラナ工科大学

セルビア Serbia

ニシュ大学

ブルキナファソ Burkina Faso

ワガダージュ・キ・ゼルボ大学

エチオピア Ethiopia

メケレ大学

アルジェリア Algeria

アルジェ大学

コートジボワール Ivory Coast

フェリックス・ウフエ・ボアニ大学

ケニア Kenya

カラティナ大学

チュニジア Tunisia

カルタゴ大学

エジプト Egypt

エジプト日本科学技術大学

ロシア Russia

ロシア科学アカデミー東洋学研究所
モスクワ国立大学 ●
サンクトペテルブルク国立大学 ● ●
ペテルブルク国立交通工科大学 ●
国立研究大学高等経済学院 ●
ペンザ国立大学
N.I.グロデコフ名義バロフスク地方考古博物館

インド India

インド科学大学院大学

マレーシア Malaysia

アジアパシフィックテクノロジー
&イノベーション大学 ●
マラヤ大学 ●
マレーシア工科大学
UCSI大学 ●
マラエ科大学機械工学部
マレーシア科学大学
ブトラマレーシア大学

シンガポール Singapore

シンガポール社会科学大学

カンボジア Cambodia

カンボジアメコン大学
ベルティ大学
王立プノンベン大学

インドネシア Indonesia

サナタダルマ大学
ボゴール農業大学
スラバヤ工科大学
ビーナス大学
アトマジャヤジョグジャカルタ大学
LSPRコミュニケーション&ビジネスインスティテュート

ネパール Nepal

トリブバン大学

ウズベキスタン Uzbekistan

タシケント国立東洋学大学 ●
サマルカンド国立大学

モンゴル Mongolia

モンゴル国立大学

フィリピン Philippines

南フィリピン大学 ●

タイ Thailand

タマサート大学 ●
チュラロンコン大学 ●
シーナカリンウィロート大学
泰日工業大学
プリンス・ソングラ大学
チェンマイ大学

ラオス Laos

ラオス国立大学

オーストラリア Australia

シドニー大学 ●
グリフィス大学 ●
アデレード大学 ● ●
モナシュ大学 ●
ボンド大学 ● ●
オーストラリア・カソリック大学 ●

中国 China

北京大学
北京大学政府管理学院
上海外国語大学 ● ●
中国国際外国専門家局
上海交通大学
北京師範大学 ●
北京外国語大学
北京日本学研究所
山東財経大学
大連民族学院
武漢大学
四川外国語大学
中央民族大学 ●
遼寧大学国際関係学院
福州大学
大連外国語大学
首都師範大学 ●
北京科技大学
重慶師範大学
外交学院
清華大学国際コミュニケーションセンター
西南交通大学
廈門石厝研究院
天津外国語大学
北京語言大学 ●
對外経済貿易大学
福建師範大学
大連大学
東北大学奉天分校
山東大学 ●
済南大学
山東協和学院
西南民族大学
華僑大学
少林寺
復旦大学文物博物館学系
西北工業大学
華南理工大學
模範的ソフトウェア学院連盟
西安交通大学
北京交通大学
吉林大學軟件学院
中国科学技術大学
西安電子科技大学
厦門大学
華中科技大学
中南大学軟件学院
東北大学
大連理工大学
東南大学
華東師範大学
天津大学
西安科技大学
大連工業大学
遼寧科技大学

香港 Hong Kong

香港公開大学
嶺南大学 ●

ニュージーランド New Zealand

マッセイ大学 ●
オークランド大学 ●
オタゴ・ポリテクニク

台湾 Taiwan

國立中山大学 ●
淡江大学 ● ●
文藻外語大学
中原大学
國立虎尾科技大学
國立雲林科技大学
國立高雄師範大学
實踐大学
國立台灣師範大学 ●
國立政治大学 ●
元智大学 ●
輔仁大学
國立高雄大学
國立暨南國際大学
中信金融管理学院
國立中央大学
國立勤益科技大学

韓国 Korea

延世大学 ●
延世大学地域発展研究所
延世大学政経大学院
徳成女子大学 ●
聖公会大学社会史研究所
嘉泉大学
ソウル大学経営学部 ●
ソウル大学日本研究所
高麗大学
梨花女子大学 ●
仁荷大学産業経済研究所
アジア気候変動教育センター
ソウル市立大学 ● ●
誠信女子大学
韓国外国語大学 ●
中央大学 ●
建国大学 ● ●
京畿大学
釜山外国語大学
湖西大学

ベトナム Vietnam

ベトナム国家大学ホーチミン市
工科大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
人文社会科学大学
FPT大学
ベトナム国家大学ハノイ
外国語大学
ダナン大学
フエ科学大学
貿易大学
ベトナム国家大学ハノイ
経済経営大学
ホーチミン市建築大学
ホーチミン市工業大学
(HUTECH)
ホーチミン市経済大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
科学大学
ベトナム国家大学ハノイ
工科大学
ハノイ工科大学
ハノイ大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
情報技術大学
カントー大学
フンイエン技術師範大学
ハイフォン大学
ホーチミン市工業大学 (UIH)
日越大学
トゥイロイ大学

カナダ Canada

プリティッシュ・コロンビア大学
アルバータ大学 ●
トロント大学 ●
ブロッック大学 ●
ヨーク大学 ●
トレント大学 ●
プリンスエドワードアイランド大学 ●
ウィクトリア大学 ●
BCI学生交換プログラム (ケベック) ●

アメリカ合衆国 U.S.A.

トルーマン州立大学 ●
ペイラー大学 ●
カリフォルニア大学デヴィス校 ● ●
ミシガン州立大学 ●
ボストン大学 ●
カリフォルニア州立大学イーストベイ校 ●
カリフォルニア大学サンディエゴ校 ●
ネバダ大学リノ校 ● ●
ボイシー州立大学 ●
サンホセ州立大学 ●
フォントボン大学 ●
サンディエゴ州立大学 ●
南カリフォルニア建築大学
ガステイバス・アドルフ・ファス大学 ●
ウェストチェスター大学 ●
ウイスコンシン大学ミルウォーキー校 ●
ミネソタ州立大学マンケート校 ●
メタイル大学
ポートランド州立大学 ●
ウェストフィールド州立大学 ●
ユタ大学
ジョージ・メイソン大学 ●
ニュー・スクール大学
カンザス大学
ウイスコンシン大学リバーフォールズ校

アルゼンチン Argentina

国立ラプラタ大学

メキシコ Mexico

アナウアク大学
グアダハラ大学 ●

バハマ Bahamas

バハマ大学